

# 『2025赤穂市総合戦略』進捗状況の概要 (令和6年度時点)

令和7年11月4日(火)

---

赤穂市役所

# 2025赤穂市総合戦略

○『2025赤穂市総合戦略』では、3つの基本目標を定め、各目標ごとに基本目標指標(KPI)による進捗確認を行いながら、人口減少社会・少子高齢化社会への対策を実施



## 目標①

自然動態(出生・死亡)の改善

・子ども・子育て支援    ・健康づくりの推進

## 目標②

社会動態(転入・転出)の改善

・赤穂の魅力を発信    ・定住基盤の充実  
・郷土愛の醸成

## 目標③

交流・関係人口(来訪者や地域  
と多様に関わる人)の創出

・地域資源を活用した魅力の創出など

# 基本目標1 自然動態（出生・死亡）の改善

## 基本目標指標

## 自然増減数(出生数－死亡数)(5年間の累計)

基準値 R7	目標値 R7	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	実績値 R7
△1,948人	△1,851人	△389人	△885人	△1,343人	△1,792人	

### 達成状況

C

### どのような施策や取組が、達成状況に影響したか

子育て支援の施策に引き続き取り組んだ結果、子育てしやすい環境はそろってきている。また死亡数に影響する生涯を通じた健康づくりを推進する取組も進めているが、その効果がまだ出ていない。

### 地方創生への効果

C

### どのような効果があったか

基準値・目標値を5年の計画期間で案分すると、前者が△1,558人、後者が△1,480人となる。令和6年度実績は△1,792人で、基準値・目標値より下回っており、施策の効果が実現しているとは言えない。

### 今後の方針

改善

### 今後の方針の理由

人口減少の加速化が社会問題となっている中、市民に住みよい環境を提供するためにも、自然動態の改善のための施策を検討することが必要である。

## 基本目標2 社会動態（転入・転出）の改善

### 基本目標指標

社会増減数(転入者数－転出者数)(5年間の累計)

基準値 R7	目標値 R7	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	実績値 R7
△586人	△81人	△302人	△386人	△538人	△779人	

達成状況

C

どのような施策や取組が、達成状況に影響したか

定住基盤を充実させる施策や雇用の確保につながる施策については目標値を概ね達成しているものの、社会動態は改善していない。

地方創生への効果

C

どのような効果があったか

基準値・目標値を5年の計画期間で按分すると、前者が△468人、後者が△64人となる。令和6年度実績は△779人となっており、基準値・目標値ともに下回っている。引き続き施策の効果実現に向けて取り組む必要がある。

今後の方針

改善

今後の方針の理由

市民に持続可能な都市機能を提供するために人口規模の維持は必要不可欠であり、社会動態改善のための施策を検討することが必要である。

# 基本目標3 交流・関係人口（来訪者や地域と多様に関わる人）の創出

## 基本目標指標

## 観光入込客数・うち宿泊者数

	基準値 H30	目標値 R7	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	実績値 R7
観光入込客数	1,413千人	1,500千人	993千人	1,091千人	1,082千人	1,157千人	
上記のうち 宿泊者数	276千人	290千人	235千人	380千人	353千人	336千人	

基本目標指標	観光入込客数	上記のうち、宿泊者数
達成状況	C	A
どのような施策や取組が、達成状況に影響したか	(一社)あこう魅力発信基地と連携し、赤穂スイーツのPRを行ったほか、ICTを活用した情報発信等により誘客促進を図ったが、目標達成には至っていない。	(一社)あこう魅力発信基地と連携し、赤穂スイーツのPRを行ったほか、ICTを活用した情報発信を行い、目標を達成した。
地方創生への効果	B	A
どのような効果があつたか	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光客数が少しずつ回復している。	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた宿泊客数が回復し、コロナ禍以前を上回った。
今後の方針	継続	継続
今後の方針の理由	地域一体となった観光地経営の推進を図ることにより交流人口の拡大と稼ぐ力の向上による地域活性化を推進するため、引き続き(一社)あこう魅力発信基地と連携し、事業を実施する。	地域一体となった観光地経営の推進を図ることにより交流人口の拡大と稼ぐ力の向上による地域活性化を推進するため、引き続き(一社)あこう魅力発信基地と連携し、事業を実施する。